

令和7年度 公募研究助成 助成対象者一覧

<新規>39件

	氏名	助成額 (万円)	現職名	研究課題名
1	井口 真紀子	100	医療法人社団鉄祐会祐 ホームクリニック大崎 院長	ケアを基盤とした医学教育構築の ための探索的研究ー医師の内面に 焦点を当てて
2	林 秋成	100	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 博士後期課程	当事者性が紡ぐ犯罪からの離脱ー 日英支援団体の比較を通じた協働 支援モデルの検討 ー
3	濱島 ゆり	100	University of Bristol・ Senior Research Associate	介護福祉の資源配分におけるニー ズ判定と臨床医の役割ー 当事者中心のケアに焦点を当てた 倫理的課題の検討
4	秋本 貴子	100	東北大学医学系 研究科課程	集中治療領域における日本人医師 の一方的な治療撤退・差し控えに 関する質的研究
5	石川 勇人	100	大阪大学大学院 博士後期課程	白梅学徒隊の沖縄戦体験記録運動 と記憶の形成過程ー忘却された戦 後体験の歴史叙述に向けて
6	朴 慧晶	99	東北大学災害科学国際 研究所・助教	超高齢社会における高齢者の「避 難しない権利」と倫理的課題 ー避難意思決定における「リス クを冒す尊厳」の視点からー
7	李 貞善	85	東京大学大学院人文社 会系研究科・特任助教	多文化共生に向けた「ヘテロトピ ア」：避難首都・釜山遺産をめぐ る文化的記憶
8	木山 幸輔	100	筑波大学人文社会系・ 助教	人権の基礎としての利益と社会関 係：劣位化説の精緻化と、刑事司 法・医療実践における要求の探求
9	欧陽 珊珊	80	立命館大学 先端総合 学術研究科	障害女性における SOGIE をめぐ る抑圧と抵抗ー日本と台湾の比較 分析
10	青柳 ゆきの	70	北海道大学大学院教育 学院 博士後期課程	いじめ・不適切指導とその事後対 応における遺族と関係者の語り に関する質的研究
11	飯田 陽奈	100	名古屋大学大学院 博士後期課程	物質使用障害患者の治療継続支援 と患者における死の意味

12	安田 智博	97	立命館大学・研究員	〈自立する生活〉の哲学——イヴァン・イリイチから学ぶ制度・道具・規範
13	佐野 良介	98	東京大学大学院教育学研究科 博士課程	水俣現地における公害の反省に基づく新たな共生知と教育—水俣大学構想に着目して—
14	リーペレス ファビオ	100	宇都宮大学 助教	連続移民のライフストーリー
15	中山 大輝	26	茨城大学 人文社会科学野 講師	人種差別と抵抗をめぐる暴力の倫理的妥当性と作家の倫理的責任—オーガスト・ウィルソンの作品分析を中心に
16	安東 彩乃	100	上智大学多文化共生社会研究所・特別研究員	手術室環境倫理へのイントロダクション—将来世代の生を支えるための倫理—
17	影山 奈々美	79.4	東京大学大学院教育学研究科・博士課程	倫理的実践としての教育の探究—ニュージーランドにおけるマオリ族の生徒の声を聴く取り組みに着目して—
18	河原崎 耀	100	東京大学政策評価研究教育センター・招聘研究員	学校における同級生からの犯罪の伝播 —影響の異質性と効果的な政策の検討—
19	高橋 優輔	100	東京大学大学院医学系研究科	再外傷化を防ぐ診療支援の共同創造—医療トラウマに配慮した実装研究
20	酒向 溪一郎	99	立命館大学大学院	東スンバ社会の財と人格の関係に関する人類学的研究：奴隷と貴族の関係性を中心に
21	高田 里佳子	100	大阪大学大学院 博士 後期課程	急性期病院における終末期患者の身体拘束低減に寄与する要因の解明
22	大橋 佳美	100	早稲田大学法学研究科 博士課程	和解を通じた紛争予防—持続可能な社会を実現する国際人権法の役割
23	竹口 隼人	75	工学院大学教育推進機構・助教	多様な思想信条の共存を念頭ににした卓越主義的な正義の構想方法
24	白石 恵那	34	東京大学大学院教育学研究科・博士後期課程	放課後等デイサービスにおける〈インクルージョン〉の多義性—障害の社会モデルに基づく「共生社会」実現に向けた概念分析

25	北谷 幸寛	65	富山大学大学院学術研究部医学系	「偶然性」と「あわい」に基づく『出来事としてのケア倫理』の構築
26	吉田 里奈	94	日本赤十字看護大学看護学研究科 博士後期課程	ICU 看護師のための終末期家族支援教育プログラムの開発と評価
27	藤村 達也	87	奈良女子大学文学部 特任助教	大学入学試験の筆記試験における合理的配慮をめぐる経験—障害を有する大学進学経験者へのインタビュー調査を中心に—
28	金 スマロ	60	東京大学大学院人文社会系研究科	古代中国における命概念の再考—天命の内在化と変容を中心として—
29	甲田 紫乃	100	公立鳥取環境大学環境学部環境学科・准教授	郷土愛・文化・共同体の語りが拓く持続可能な社会—環境プラグマティズムの視座からみる日芬比較研究—
30	三浦 純子	100	同朋大学	難民の移動経路 の人類学的研究: 定住支援の再検討
31	新田 あゆみ	87	上智大学生命倫理研究所 客員所員	精子・卵子提供による家族を支える仕組みづくりの検討—子どもの出自を知る権利についての意識調査から考える—
32	梅津 茜	100	内閣府国際平和協力本部事務局	社会学と科学の融合アプローチから考察する人間と自然の共生 —紛争後のイラク南部湿原の環境修復事例から
33	亀井 恭祐	60	広島大学大学院	広島における平和教育の萌芽—原爆被爆教師の会の活動に着目して—
34	PINILLOS MATSUDA DEREK KENJI	80	明治大学国際日本学部・特任准教授	多文化共生社会に向けた海外つながりの子どもの進路選択に関する質的研究 —日系ペルー人の事例を中心に—
35	山澤 啓司	49	専修大学法学部 助教	「意思決定支援」に関する障害者権利条約第 12 条の解釈と「最善の解釈」論の意義
36	松山 聖央	80	岡山県立大学・准教授	自然介入プログラムの検証にもとづく人工物介入プログラムの開発 美学的ケア論と健康生成論との比較をつうじて

37	平井 智子	30	三重大学大学院 博士課程	中途・軽度精神障害者が自立に向かう際に直面する生活上の困難の構造的課題についての考察
38	浦野 敬介	80	東京大学 大学院総合 文化研究科	道徳錯誤説の研究—分断の時代における倫理的対話の可能性のために
39	藤本 大士	80	ハイデルベルク大学 講師	アジア太平洋戦争と日本人女性医師の活動

<継続> 4 件

	氏名	助成額 (万円)	現職名	研究課題名
1	横濱 佑三子	40	上智大学大学院実践 宗教学研究科死生学 専攻・博士後期課程	現代日本小説にみる安楽死の合法化をめぐる社会的言説の表象
2	竹田 響	100	京都大学 博士後期課程	日本と東北アジアに拡がる在日朝鮮人の親族のつながりに関する文化人類学的研究
3	山口 和紀	72	立命館大学大学院先 端総合学術科一貫制 博士課程	「特殊大学」形成史の日米比較— 「障害者だけの大学」はなぜ作られたのか
4	宮本 勇一	80	岡山大学	越境しない世界市民教育のための概念型カリキュラムの開発—人権教育・平和教育・ESD の中の境界線—